

PGI Workstation ソフトウェアと PGI Visual Fortran ソフトウェアの併用の際の注意点

Windows 版の以下の製品ライセンスをご購入いただいた場合、Microsoft (R) Visual Studio 統合開発環境下で使用可能な PGI (Accelerator) Visual Fortran ソフトウェアも併用することができます。

- PGI Fortran/C/C++Workstation/Server 製品 (Windows 版のみ)
- PGI Fortran Workstation/Server 製品 (Windows 版のみ)

1. 概要

Windows 版の Fortran 言語を含んだ PGI Workstation/Server 製品のライセンスキーの中に、PGI Visual Fortran ソフトウェア (以下、「PVF」と言う。) も利用可能となる PVF キーが含まれております。上記製品用に取得したライセンスファイルで、PGI Workstation 系 (シェル環境でのコマンド操作) と PVF(Visual Studio 上の操作)の二つのソフトウェアを利用できます。但し、PGI Workstation ライセンスの場合は、ノードロック・ライセンスのため、1 台のマシン上で二つのソフトウェアを併用する形となります。PGI Server ライセンスの場合は、ネットワーク上の任意の Windows マシンで、PGI Workstation のソフトウェアだけでなく、PVF ソフトウェアも利用可能となります。

2. インストール時の注意 (ライセンスファイルの扱い)

- 両方のソフトウェアを併用したい場合は、1 台のマシン上に、二つのソフトウェアを個別にインストールする必要があります。
- インストール時に各ソフトウェアを実装するフォルダは、同じフォルダとすることを推奨します。PGI のデフォルトの実装フォルダは、どちらの場合も C:\Program Files\PGI です。両ソフトウェア共に、インストール・ウィザードの中で、デフォルト表示される「C:\Program Files\PGI」実装場所のまま、インストールしてください。
- ライセンスファイル (license.dat) は一つのファイルで共用されますが、C:\Program Files\PGI の直下に設置して下さい。これによって、両方のソフトウェアが利用できます。
- 各ソフトウェア共に、インストール時のウィザードの中で「ライセンスキーの自動取得を行うか？」を尋ねてきます。**最初に**インストールするソフトウェアのウィザードで、license.dat の自動取得を行います。もし、自動取得が失敗した場合は、ソフトウェアの実装は自動取得手続の前に正常に終了していますので、インストール・ウィザードを終了して下さい。その後、license.dat は、PGI 社のライセンス管理サイトから、手動で取得します。これに関しては、別紙インストールの手引き等をご覧下さい。自動取得あるいは手動取得した license.dat は、C:\Program Files\PGI 配下に置かれます。この手続で、license.dat の設置は終了します。
- 次に、**もう一方のソフトウェア**をインストールするときは、「ライセンスキーの自動取得を行うか？」を NO として自動取得を行わず、インストールを終了して下さい。
- この license.dat を設置後、PGI ライセンス・マネージャを起動します。PGI ライセンス・マネージャの起動は、「コントロールパネル」→「管理ツール」→「サービス」→「PGI License manager」で操作可能です。